

入札説明書

広島県商工労働局県内投資促進課（広島市中区基町10-52）
TEL: 082-513-3382

業務名	令和8年度「広島・四川経済交流促進事務連絡室」運営業務	履行期間	令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)	履行場所	仕様書で定める場所	入札参加資格確認申請書提出期限	令和8年3月4日(水) 午後5時
技術評価等資料提出期限 (郵便等による提出期限)	令和8年3月17日(火) (令和8年3月16日(月) 午後5時)	仕様書等に対する質問・回答書提出期限	質問:令和8年3月11日(水) 回答:令和8年3月12日(木)	入札日時 (郵便等による入札期間)	令和8年3月17日(火) 午前10時30分 (令和8年3月12日(金) 午前9時から 令和8年3月16日(月) 午後5時まで)	入札場所 (郵便等による入札)	広島県庁舎本館地下1階 第一入札室 (広島県庁東館3階 県内投資促進課内)
注意事項						契約事項	
1 入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）について (1) 入札参加希望者は、誓約書及び機密データの保存等に関する申出書を申請書に添付しなければならない。 (2) 申請書及び前号に定める必要な書類（以下「申請書等」という。）の作成に要する費用は、入札参加希望者の負担とする。 (3) 申請書等に虚偽の記載をした者については、指名除外措置を行うことがある。 (4) 申請書等の提出は、持参、郵便等又は電子メールによる。郵便等による提出は、一般書留郵便、簡易書留郵便及び一般信書便事業者又は特定信書便事業者の提供するサービスでこれらに準じるものに限る。（民間宅配事業者のいわゆる「メール便」はこれに当たらない。）						1 広島県会計規則及び広島県契約規則に基づき執行する。 2 入札保証金 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 3 契約保証金 公告に定めるとおり 4 地方自治法第234条の3の規定に基づく長期継続契約 <input type="checkbox"/> 適用 <input checked="" type="checkbox"/> 適用なし	
2 仕様書等について (1) 仕様書等に対する質問がある場合は、上記仕様書等に対する質問書提出期限までに、持参、郵便等又は電子メールにより提出すること。 (2) 交付を受けた仕様書等について、契約担当職員が返却を求めた場合は、入札当日返却すること。ただし、入札参加資格要件等に適合しないとされた者については、その通知を受けた日から5日以内に返却すること。						1 公告の写し <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 契約書（案） <input checked="" type="checkbox"/> 入札参加資格確認申請書の様式 <input checked="" type="checkbox"/> 誓約書の様式 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書等に対する質問書の様式 <input checked="" type="checkbox"/> 入札書の様式 <input checked="" type="checkbox"/> 委任状の様式 <input checked="" type="checkbox"/> 機密データの保存等に関する申出書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（技術評価等資料作成要領）	
3 技術評価等資料について (1) 提出後の技術評価等資料の変更、差し替え等は認めない。 (2) 提出された技術評価等資料は返却しない。 (3) 技術評価等資料の作成に要する費用は、入札者の負担とする。 (4) 技術評価等資料に虚偽の記載をした者については、指名除外措置を行うことがある。 (5) 提出は持参、郵送等による。ただし、郵送等による場合は、期限までに必着することとする。また、持参、郵送等により提出する技術評価等資料は、提出者の商号又は名称及び当該入札に係る業務の名称及び開札日を記載した封筒に封入して提出すること。 (6) 技術評価等資料の記載事項は原則として全て履行しなければならない。						2 入札について (1) 次に該当する場合は、その入札は無効とする。 ア 入札に参加する者に必要な資格のない者が入札したとき。 イ 入札を取り消すことができる制限行為能力者の意思表示であるとき。 ウ 契約担当職員において定めた入札に関する条件に違反したとき。 エ 入札者が二以上の入札をしたとき。 オ 他人の代理人を兼ね、又は2人以上を代理して入札したとき。 カ 入札者が連合して入札したとき、その他入札に関して不正の行為があったとき。 キ 入札保証金が所定の額に満たないのに入札したとき。 ク 必要な記載事項を確認できない入札をしたとき。 ケ 再度の入札をした場合においてその入札が一であるとき。 コ 入札に際しての注意事項に違反した入札をしたとき。 (2) 落札者がないときは再度の入札をする。ただし、無効な入札をした者は、再度の入札に参加することができない。 (3) 再度の入札は5回を超えないものとする。 (4) 再度の入札の日時は別途指示する。 (5) 入札執行について ア 代理人が入札する場合には、入札前にその代理権を証する書面（以下「委任状」という。）を提出しなければならない。ただし、有効期間の記載のある委任状をあらかじめ提出し、当該有効期間が入札の時期を含む場合は除く。 イ 入札執行中における入札辞退は、入札辞退届又はその旨を記載した入札書を、入札執行者に直接提出すること。 ウ 入札執行中は、入札執行者が特に必要と認めた場合を除くほか入札室の出入を禁じる。 エ 入札執行中は、入札者の私語、放言等を禁じる。 オ 入札室には、原則として入札に必要な者以外は入室してはならない。 5 契約書について (1) 落札者は、契約担当職員から交付された契約書に記名押印し、落札通知を受けた日から5日（広島県の休日を定める条例（平成元年広島県条例第2号）第1条第1項に規定する県の休日を除く。）以内に契約担当職員に提出しなければならない。ただし、やむを得ない場合は、この限りではない。 (2) 契約書は2通作成し、各自その1通を保有するものとする。	

必要な書類について原本を添付させる場合は、申請書等の提出を、持参又は郵便等に限定することは可能である。